

右の図は今年5月号の [Sysport announce] でお伝えしたイラストです。

今回は、更にもう少し具体的にお話ししてみようと思います。

## 題して「**ほんぽい** 30 がプライベートクラウドに対応している」とは？

※Sysportの**ほんぽい**シリーズはすべてプライベートクラウド対応していますが、ここでは**ほんぽい** 30を例にとってご説明します。

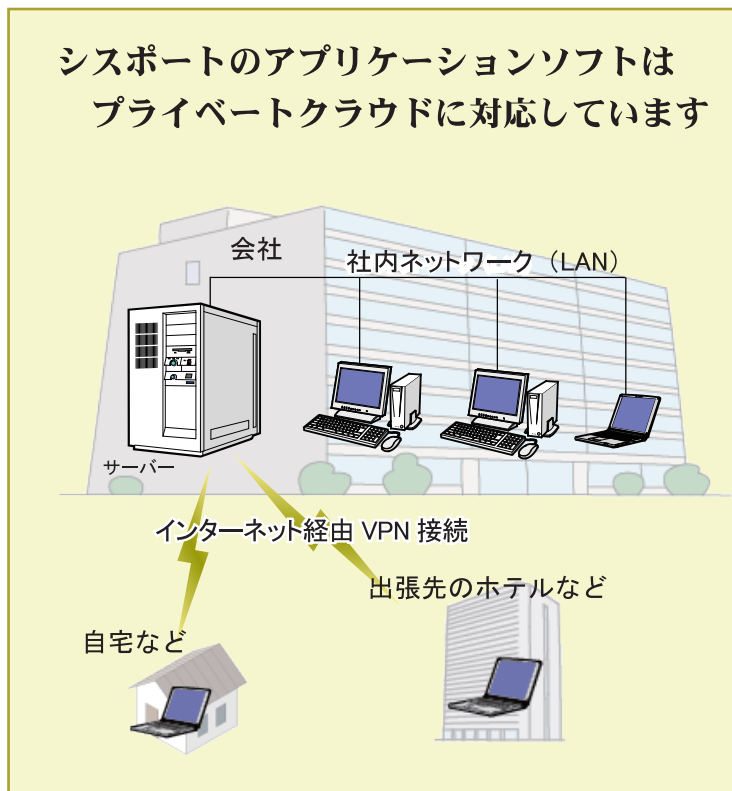
実は「プライベートクラウド」なんて言葉が世の中に広まるよりも前、約10年前から、私達は「ターミナルサービス仕様（以下、TS仕様）」として皆さんに提案していた形態になります。

### そもそも「プライベートクラウド」とは、なんのこと？

簡単に言うと各企業、各組織が自社内でクラウド環境を構築（！）し、社内で提供するクラウド形態を表します。

従来の**ほんぽい** 30のように企業独自の仕様を設計・管理できるため、弊社が得意とするお客様のご要望に合わせた柔軟なシステム構築が可能です。

### では、従来の**ほんぽい** 30とこのTS仕様って何が異なるのでしょうか？



### 1 すべての Windows パソコンに標準装備されている「リモートデスクトップ接続」を利用して**ほんぽい** 30を起動します。

従来の**ほんぽい** 30だとパソコン毎に**ほんぽい** 30をインストールするが必要でしたが、TS仕様だとその必要がなくなります。今風の言葉で表現すると「プライベートクラウド内で**ほんぽい** 30を利用する」ということになります。

### 2 ネット環境があれば、世界中から（ちょっと大げさ？）**ほんぽい** 30を起動&利用できます。

プライベートクラウド内で**ほんぽい** 30を利用出来るということは、「プライベートクラウド」に接続できるパソコンを持ち歩くと、外出先、ご自宅、移動中でも**ほんぽい** 30が利用出来ます。

移動中に見積書を作成して案内する・・・訪問前に過去の販売履歴を確認する・・・なんてことは朝飯前です。

### 3 実はトラブルに強い

万が一、普段お使いのパソコンが壊れても大丈夫です。他のパソコンで「リモートデスクトップ接続」を起動すれば**ほんぽい** 30をシームレスに起動&利用できます。**ほんぽい** 30をインストールしてもらうまで、しばらく自分のパソコンでは**ほんぽい** 30が使えない・・・なんてことはありません。「プライベートクラウド内で**ほんぽい** 30を利用している」から、パソコンに**ほんぽい** 30をインストールする必要がないのです。

また、インターネット回線が天災などで切断しても「プライベートクラウド内の**ほんぽい** 30」なら社内では何も変わらずご利用戴けます。

一般的なクラウド（パブリッククラウドと言います）だと、ネット回線が切断するとシステムダウン（スマホのアプリが圏外になると使えないというような状態）となりますが、「プライベートクラウド」なら、停電が発生しないかぎりシステム&業務を継続出来ます。

上記のメリットを実感されている、**ほんぽい** 30ユーザーのお客様が多数おられます。コロナ禍においても、スムーズにテレワーク導入&移行が出来たと喜んでいただきました。

**ほんぽい** 30をすでにご利用のお客様も、これから販売管理システムの導入を検討されている未来のお客様もお気軽にご相談ください。

最後に1つ・・・**ほんぽい** 30をテレワークで利用するには、必ず「VPN(バーチャルプライベートネットワーク)」網を構築する必要がありますのでVPN環境をご用意下さい。(VPN環境の構築もお任せ下さい)